

# H27中小企業振興施策 実施状況報告

平成28年8月  
経済部



# 東大阪市第3次総合計画後期基本計画

中小企業のまち  
東大阪市

## 部門別計画 第4部 活力ある産業社会を切り拓くまちづくり

### 第21節 モノづくりが元気なまち

- 4-21-1 モノづくり企業の高付加価値化を支援します
- 4-21-2 「モノづくりのまち東大阪」を次の世代に引き継ぎます
- 4-21-3 モノづくり企業の販路開拓を応援します
- 4-21-4 地域経済の連携、交流に取り組みます

### 第22節 買い物しやすいまち

- 4-22-1 特色ある商業集積地域づくりを支援します
- 4-22-2 「元気な店舗グループ」の活動を支援します
- 4-22-3 地域資源の活用で集客力を強化します
- 4-22-4 安心して快適に買い物ができる環境づくりを進めます

### 第23節 農業と農地空間を大切にすまち

- 4-23-1 安全で新鮮な農産物を消費者に届けます
- 4-23-2 東大阪市の特産物を地域ブランドとして発信します
- 4-23-3 農業と農地空間の担い手を育てます
- 4-23-4 農地空間の持つ価値や機能を生かします
- 4-23-5 有害鳥獣被害への対策を進めます

## 第24節 産業活動にとって魅力のあるまち

- 4-24-1 居住環境と工場の操業環境の共生を進めます
- 4-24-2 金融面から産業活動を支援します
- 4-24-3 経済施策情報を分かりやすく発信します
- 4-24-4 クリエイション・コア東大阪を有効に活用します

## 第25節 雇用が安定し、働きやすいまち

- 4-25-1 働きがいのある労働環境づくりを支援します
- 4-25-2 安心して働ける労働環境づくりを支援します
- 4-25-3 若者の就業を応援します
- 4-25-4 就職に困っている人の雇用を促します
- 4-25-5 高齢者の生きがい就労を応援します

## 第2部 市民文化を育むまちづくり

### 第8節 多くの国・地域や二つの交流が育まれるまち

- 2-8-5 東大阪市の魅力をつくり、発掘し、発信します

## 第9条 中小企業の振興に関する施策

- 1 中小企業者の産業集積の活性化及びネットワークを強化させるための施策
- 2 中小企業者の操業環境の確保及び市民の住環境との調和を推進するための施策
- 3 中小企業者の販路拡大のための施策
- 4 中小企業者の経営資源を強化するための施策
- 5 中小企業者の人材の育成・事業承継に関する施策
- 6 中小企業者の資金調達の円滑化を促進させるための施策
- 7 中小企業者の創造的な事業活動の促進のための施策
- 8 中小企業者のグローバル化のための施策
- 9 中小企業者の労働環境を整備するための施策
- 10 中小企業者の魅力等の情報発信を行うための施策
- 11 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める施策

## H27中小企業振興施策実施状況評価一覧

所管課	事業名	評価	掲載頁
<b>1 中小企業者の産業集積の活性化及びネットワークを強化させるための施策 (評価A・Bの割合 66.7%)</b>			
モノづくり支援室	高付加価値化支援事業	A	6
モノづくり支援室	異業種交流促進事業	A	13
商業課	空き店舗活用促進事業	A	14
商業課	元気グループ推進支援事業	A	15
商業課	共同施設設置助成事業	A	16
商業課	個店経営者育成セミナー事業	B	15
モノづくり支援室	創業促進インキュベーション支援事業	C	7
商業課	商業振興コーディネート事業	C	14
モノづくり支援室	知的財産支援事業	D	11
<b>2 中小企業者の操業環境の確保及び市民の住環境との調和を推進するための施策 (同割合 66.7%)</b>			
モノづくり支援室	モノづくり立地促進補助事業	A	8
商業課	空き店舗活用促進事業	A	14
農政課	農業啓発推進事業	A	19
農政課	都市農業活性化農地活用事業	B	19
モノづくり支援室	住工共生のまちづくり事業	C	5
農政課	有害鳥獣捕獲対策事業	C	20
<b>3 中小企業者の販路拡大のための施策 (同割合 100.0%)</b>			
モノづくり支援室	クリエイション・コア常設展示場出展支援事業	A	6
モノづくり支援室	国内外販路拡大事業	A	7
モノづくり支援室	東大阪市技術交流プラザ事業	A	8
モノづくり支援室	東大阪ブランド推進機構補助事業	A	9
モノづくり支援室	東大阪デザインプロジェクト事業	A	10
商業課	観光振興事業	A	13
商業課	元気グループ推進支援事業	A	15
農政課	農業啓発推進事業	A	19
モノづくり支援室	モノづくりワンストップ推進事業	B	5
モノづくり支援室	成長産業参入支援事業	B	11
農政課	都市農業活性化農地活用事業	B	19

所管課	事業名	評価	掲載頁
<b>4 中小企業者の経営資源を強化するための施策 (同割合 81.8%)</b>			
モノづくり支援室	高付加価値化支援事業	A	6
モノづくり支援室	東大阪デザインプロジェクト事業	A	10
商業課	空き店舗活用促進事業	A	14
商業課	共同施設設置助成事業	A	16
農政課	農業啓発推進事業	A	19
モノづくり支援室	モノづくりワンストップ推進事業	B	5
モノづくり支援室	成長産業参入支援事業	B	11
商業課	個店経営者育成セミナー事業	B	15
農政課	都市農業活性化農地活用事業	B	19
商業課	商業振興コーディネート事業	C	14
モノづくり支援室	知的財産支援事業	D	11
経済総務課	中小企業振興会議	—	20
<b>5 中小企業者の人材の育成・事業承継に関する施策 (同割合 85.7%)</b>			
モノづくり支援室	次世代モノづくり啓発事業	A	9
モノづくり支援室	モノづくり開発研究会支援事業	A	12
農政課	農業啓発推進事業	A	19
商業課	個店経営者育成セミナー事業	B	15
モノづくり支援室	ビジネスセミナー開催経費	C	14
経済総務課	東大阪市CSR経営表彰(東大阪市企業・従業員表彰事業)	C	21
労働雇用政策室	モノづくり若年者等就業支援事業	D	17
<b>6 中小企業者の資金調達の円滑化を促進させるための施策 (同割合 100.0%)</b>			
経済総務課	中小企業融資事業	A	22

7 中小企業者の創造的な事業活動の促進のための施策 (同割合 75.0%)			
モノづくり支援室	高付加価値化支援事業	A	6
モノづくり支援室	東大阪ブランド推進機構補助事業	A	9
モノづくり支援室	東大阪デザインプロジェクト事業	A	10
商業課	観光振興事業	A	13
商業課	空き店舗活用促進事業	A	14
商業課	元気グループ推進支援事業	A	15
モノづくり支援室	モノづくりワンストップ推進事業	B	5
モノづくり支援室	成長産業参入支援事業	B	11
商業課	個店経営者育成セミナー事業	B	15
商業課	商業振興コーディネート事業	C	14
経済総務課	東大阪市CSR経営表彰(東大阪市企業・従業員表彰事業)	C	21
モノづくり支援室	知的財産支援事業	D	11
経済総務課	中小企業振興会議	—	20
8 中小企業者のグローバル化のための施策 (同割合 100.0%)			
モノづくり支援室	国内外販路拡大事業	A	7
モノづくり支援室	東大阪デザインプロジェクト事業	A	10
モノづくり支援室	モノづくりワンストップ推進事業	B	5
9 中小企業者の労働環境を整備するための施策 (同割合 60.0%)			
労働雇用政策室	ワークサポート事業	A	16
労働雇用政策室	市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	A	18
労働雇用政策室	就労困難者就労支援事業	B	18
労働雇用政策室	若年者等トライアル雇用事業	D	17
労働雇用政策室	モノづくり若年者等就業支援事業	D	17
10 中小企業者の魅力等の情報発信を行うための施策 (同割合 100.0%)			
モノづくり支援室	国内外販路拡大事業	A	7
モノづくり支援室	東大阪市技術交流プラザ事業	A	8
モノづくり支援室	次世代モノづくり啓発事業	A	9
商業課	観光振興事業	A	13
経済総務課	中小企業情報提供事業	A	21
モノづくり支援室	産業振興PR経費	B	12

※各施策の評価A・Bの割合は、評価「—」はカウントしていない

## 【様式の見方】

所属	所属名を記載	No.	通しNo.
----	--------	-----	-------

事業名	事業名を記載	平成27年度 目標達成度
事業概要	事業全体の大まかな内容について記載	目標①、②の達成度に対して、目標が1つの場合は、A:8~7点、B:6~5点、C:4~3点、D:2点として目標達成度を記載。目標が2つの場合はA:4点、B:3点、C:2点、D:1点として、8~7点=A、6~5点=B、4~3点=C、2点=Dとして目標達成度を記載

H27 決算	H27決算額を記載	H28 予算	H28予算額を記載	振興 施策	東大阪市中小企業振興条例に規定される中小企業振興施策番号を記載
-----------	-----------	-----------	-----------	----------	---------------------------------

第3次総合計画後期基本計画 部門別計画		
部	節	取り組みのあらし
第3次実施計画体系に該当する箇所の部・節・取り組みのあらし番号を記載		

指標①	事業を客観的に評価するための基準を記載	指標②	同左					
指標の 説明・計算式	指標の説明・計算式等を記載	指標の 説明・計算式	同左					
	H27	H28	H29	H26達成度	H27	H28	H29	H26達成度
目標①	各年度の目標を記載			H26達成度 平成26年度目標に対する達成度を記載。 (100%=A、80~100%未満=B、50~80%未満=C、50%未満=D)	目標②	同左		
実績①	各年度の実績を記載				実績②	同左		
事業実績 (平成27年度)	平成27年度の取り組み内容を記載							
課題・問題点	平成27年度に取り組んだ改善策のうち、主に実施できなかった内容や、事業実績に記載した内容を実施する中での課題・問題点を記載							
平成28年度に向けた改善策	上記の課題や問題点を具体的にどのように改善していくかを記載							

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	1
----	--------------	-----	---

事業名	住工共生のまちづくり事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	本市にとって重要な存立基盤の一つである製造業の集積維持や継承に向けた環境づくりを積極的に推進しつつ、良好な住環境を確保することで、活力あふれる経済活動と快適な生活環境の両立をめざす。	C

H27 決算	11,013千円	H28 予算	36,021千円	振興 施策	2		
-----------	----------	-----------	----------	----------	---	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	1

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	2
----	--------------	-----	---

事業名	モノづくりワンストップ推進事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	販路系コーディネーターがモノづくりの現場へ赴き、販路開拓支援を行うとともに、市等の施策情報を提供する。また、技術系コーディネーターが発注案件を市内モノづくり企業へつなぎ、受注拡大を図る。	B

H27 決算	21,331千円	H28 予算	25,368千円	振興 施策	3	4	7	8
-----------	----------	-----------	----------	----------	---	---	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	3

指標①	相隣環境対策支援補助金の活用件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	5件	7件	10件	C	目標②				
実績①	3件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>・住工共生のまちづくり条例に基づき認定された住工共生まちづくり協議会が実施する事業に対して補助金を交付する「住工共生まちづくり活動支援補助金」を新規実施。</p> <p>・住工共生のまちづくり条例に基づき特にモノづくり企業の集積を維持し、促進することが必要であると認める地区について、水走地区、高井田地区を選定し、都市計画制度の活用について検討実施。</p>								
改善すべき点	<p>・住工共生にかかる補助金施策について、活用件数が少ないものがある。</p> <p>・条例に基づき、施策等の実施状況を公表し、広く市民、モノづくり企業等の意見を求めるものとなっているが、本条例に関する意見が少ない。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>・住工共生のまちづくりの取り組みに関するPRを積極的に行う。</p>								

指標①	相談対応・企業訪問件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	5,550件	5,550件	5,550件	B	目標②				
実績①	5,147件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>各コーディネーターが市内企業を訪問し、市・府・国の施策を紹介、申請サポートをすとともに企業の抱える課題・ニーズの掘り起こしを行い、適切な支援機関へつなぐ等のサービスを実施。また、さまざまな発注案件に対応した企業を紹介した。</p>								
改善すべき点	<p>市内企業の強みとなる技術を把握すべく、さまざまな企業情報の入手。</p>								
平成28年度に向けた改善策	<p>市内企業の強みとなる技術を把握すべく、さまざまな企業情報の入手するため、これまで相談のなかった企業や小規模企業に対して積極的にアプローチをかける。</p> <p>コーディネーターの今後の活動の指標となるよう、訪問企業にアンケートをとり、改善をはかる。</p>								

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	3
----	--------------	-----	---

事業名	高付加価値化支援事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	市内中小製造業者が単独又は2社以上の共同で行う、新たな産業技術の研究や新製品の開発に向けた活動等に対して補助金を交付し、付加価値の高い製品の製造や技術研究を促進する。	A

H27 決算	8,795千円	H28 予算	12,664千円	振興 施策	1	4	7
-----------	---------	-----------	----------	----------	---	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	高付加価値化促進事業助成金の活用件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	10件	10件	10件	A	目標②				
実績①	10件	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	13件の提案に対して10件を採択し、助成金を交付した。いずれの事業も製品化に向けた試作品や新たな技術開発等の成果がみられる。
改善すべき点	コーディネーターが本事業について広報に努めていただいたこともあり、5月の一次公募において採択予定件数以上の応募があり、一次募集において募集を締め切った。今後は事業実施中における技術系コーディネーターのフォローから開発後の販路コーディネーターによるアドバイス等一連の流れが必要。
平成28年度に向けた改善策	上記改善点を解決すべく、技術コーディネーター及び販路系コーディネーターとの連携をはかり、当該事業での製品・技術開発の加速に取り組む。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	4
----	--------------	-----	---

事業名	クリエイション・コア常設展示場出展支援事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	クリエイション・コア東大阪の1階、2階の展示場に市内企業が製品や技術を展示することに対して出展支援を行う。補助対象者は市内企業のみで、出展開始後2年間、月額出展料の3分の1以内で補助金を交付する。	A

H27 決算	636千円	H28 予算	1,050千円	振興 施策	3		
-----------	-------	-----------	---------	----------	---	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	4

指標①	支援企業数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	15社	15社	15社	A	目標②				
実績①	15社	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	本年度は市内企業1社が解約。新たに契約を結んだ市内企業は4社。
改善すべき点	常設展示はMOBIOに視察に来られる方を対象に展示しているが、実際にどれだけ効果があるか不明。
平成28年度に向けた改善策	今後の展示視察等の動向を踏まえ検討。



所属	経済部 モノづくり支援室	No.	5
----	--------------	-----	---

事業名	創業促進インキュベーション支援事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	クリエイション・コア東大阪内の「インキュベートルーム」に地域の技術集積を活用して、新たな事業を創出し、展開しようとしている企業・ベンチャー企業等の家賃を一部補助する。また、企業等が商談や企業間交流を行う共用スペースである「コミュニケーションスペース」を確保する。	C

H27 決算	4,382千円	H28 予算	8,683千円	振興 施策	1			
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	--	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	4

指標①	支援企業数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	10社	10社	10社	C	目標②				
実績①	5社	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	本年度は2企業が退去。2企業が新規入居。
改善すべき点	空室が目立ってきている。
平成28年度に向けた改善策	所管している中小機構や大阪府と連携し入居企業増加の方法を検討する。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	6
----	--------------	-----	---

事業名	国内外販路拡大事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	市内製造業の国内外へのさらなる販路拡大を図るため、見本市などへの出展の支援を行う。	A

H27 決算	9,648千円	H28 予算	5,000千円	振興 施策	3	8	10	
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	---	----	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

指標①	見本市等出展支援事業助成金の活用件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	25件	25件	25件	A	目標②				
実績①	47件	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	国内販路拡大事業について、国の補正予算を使い4次公募行い、計42件助成した。また、海外販路拡大事業については、1次公募を行い5件助成した。
改善すべき点	国内販路拡大事業の出展先地域が偏っている傾向がある。
平成28年度に向けた改善策	平成28年度事業も国庫補助金を使い事業を実施するが、上記の対策のため、日本全国での展示会情報等を周知し国内の販路拡大をはかる。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	7
----	--------------	-----	---

事業名	モノづくり立地促進補助事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	工業専用地域やモノづくり推進地域(工業地域と多くの準工業地域を指す)において、新たに製造業を営む場合や工場を建設する場合などに、土地・建物にかかる都市計画税および固定資産税相当額の一定割合の補助金を交付することで、製造業の立地と定着を図る。	A

H27 決算	11,093千円	H28 予算	30,674千円	振興 施策	2			
-----------	----------	-----------	----------	----------	---	--	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	1

指標①	補助事業活用による新規立地件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	3件	3件	3件	A	目標②				
実績①	4件	1件	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	補助金の申請件数や相談が増加している。
------------------	---------------------

改善すべき点	より当該補助金を周知するべきである。
--------	--------------------

平成28年度に向けた改善策	自治体間の企業誘致施策の競争等があることから、当該補助金の拡充が望まれる。
---------------	---------------------------------------

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	8
----	--------------	-----	---

事業名	東大阪市技術交流プラザ事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	市内製造業の情報発信・販路開拓を支援するため、企業検索などができるサイト「東大阪市技術交流プラザ」を運営する。	A

H27 決算	6,700千円	H28 予算	5,746千円	振興 施策	3	10		
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	----	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3
4	24	3

指標①	サイト全体のページビュー数				指標②	技術交流プラザ登録企業数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	740,000件	760,000件	780,000件	B	目標②	1,180件	1,220件	1,260件	A
実績①	651,668件	-	-		実績②	1,197件	-	-	

事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>未登録企業に対し積極的に登録の呼びかけを行った結果、132社から新規申し込みがあった。</li> <li>平成25年度は未開催、平成26年度は1回の開催であった「市内企業向けの技術交流プラザ登録セミナー」を3回開催し22社に参加いただいた。</li> <li>1件でも多くの発注案件を呼び込むため、展示会への出展やインターネットを活用した広告を実施。主にgoogleでの検索運動型広告を実施した結果、広告掲載期間中は通常月に比べ、問い合わせ件数が2倍になった。</li> </ul>
------------------	--

改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>132社から新規申し込みがあったが、登録に至った件数は58社であり、登録率が低い。</li> <li>アクセス数が減少傾向にある。</li> <li>直帰率が74%と高く、ホームページにたどり着いても十分に見られていない可能性がある。</li> </ul>
--------	---

平成28年度に向けた改善策	技術交流プラザの更新を通じて、以下の3点の改善を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>掲載情報の量と質の充実</li> <li>ウェブサイトの利用者数増加</li> <li>利用者が求める情報のみつけやすさ、探しやすさの向上</li> </ul>
---------------	--

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	9
----	--------------	-----	---

事業名	東大阪ブランド推進機構補助事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	東大阪市から誕生した製品の魅力を都市ブランドとして発信することにより、認定製品の販路開拓につなげるとともに、「モノづくりのまち東大阪」の都市イメージの向上を図る。	A

H27 決算	3,602千円	H28 予算	4,068千円	振興 施策	3	7
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

指標①	ブランド認定製品数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	140製品	145製品	150製品	A	目標②				
実績①	143製品	-	-		実績②				

事業実績  
(平成27年度)

- 東大阪ブランド推進機構の理事を中心に、会員定例会などを実施。
- 新規に3社13製品を東大阪ブランド製品に認定。
- テクノメッセ東大阪、新価値創造展などで東大阪ブランドのPRを実施。
- 大阪芸術大学、近畿大学との産学連携事業を実施。
- 地域向けのイベントとして「モノづくりひろばHIGASHIOSAKA」を開催。
- 「大切なだれかのために考えた発明品アイデアプロジェクト」を実施。  
(本プロジェクトについては、市長より感謝状をいただいた。)

改善すべき点

東大阪ブランド推進機構の今後のあり方について、検討しており、会員企業の意思統一及び団体運営のための収入源の確保が課題である。

平成28年度に向けた改善策

平成28年度中に、東大阪ブランド推進機構の今後のあり方、体制等を定める。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	10
----	--------------	-----	----

事業名	次世代モノづくり啓発事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	小学校でのモノづくり体験教室の実施や少年少女発明クラブの支援により、次代を担う子どもたちのモノづくりに対する興味や関心を高め、将来の産業を担う人材を育成する。	A

H27 決算	4,635千円	H28 予算	4,568千円	振興 施策	5	10
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	----

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

指標①	モノづくり体験教室参加児童数				指標②	発明クラブ活動への参加率			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	5,000人	5,000人	5,000人	A	目標②	85%	85%	85%	B
実績①	5,146人	-	-		実績②	80%	-	-	

事業実績  
(平成27年度)

【モノづくり教育支援事業】  
のべ68校、184クラス、5,873人の応募中、のべ63校、162クラス、5,146人が当事業に参加した。

【少年少女発明クラブ】  
開催回数29回、のべ674人が参加した。

改善すべき点

【モノづくり教育支援事業】  
参加者の増加を図りたいが、その分企業への負担が増えてしまう。体験メニューを増やすことで、負担を分散させる必要がある。

【少年少女発明クラブ】  
年度後半になると参加率が低下してしまう。年度を通して高い参加率を維持して参りたい。

平成28年度に向けた改善策

【モノづくり教育支援事業】  
体験教室を広く周知し、参加企業を増やすことで参加者の増加を図って参りたい。

【少年少女発明クラブ】  
年度途中での退会者が出ないよう、1年間を通して興味を持ってもらえるようなメニュー作りなどに配慮する。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	11
----	--------------	-----	----

事業名	東大阪デザインプロジェクト事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	世界で高く評価されているデザインという資源に着目し、本市製造業の高い技術力と融合させていくことで、付加価値の高いオリジナル製品を創出する。	A

H27 決算	3,138千円	H28 予算	3,500千円	振興 施策	3	4	7	8
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	---	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	本プロジェクトを通じて誕生・改良した製品数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	3製品	3製品	3製品	A	目標②				
実績①	3製品	-	-		実績②				

事業実績  
(平成27年度)

①デザイン製品を志向する市内中小企業に対し、「リノベーション市場に必要とされるモノづくり」を開発テーマと設定して、リノベーション市場をターゲットに新製品開発を実施。(3社)②諸外国でのデザインに関する動向や製品開発におけるデザインに必要な視点、デザイン性を高めることによる効果などの解説と併せて製品アドバイス会を実施。(2回開催)③10月に、東大阪デザインプロジェクト製品発表の場として国際見本市「LIVING & DESIGN2015」へ出展し、本事業の成果を発信した。(来場者数: 7, 332人)

改善すべき点

デザイン資源への重要性を啓発していくとともに、デザイン製品開発に参入できる環境を整えていく必要がある。本プロジェクトに参加した企業の成果を把握していく必要がある。

平成28年度に向けた改善策

引き続き、デザイン思考を取り入れた製品開発の取り組みを進めるとともに、市内中小企業による商品価値を高めたり、感性価値を創出した成果事例を産みだしていく。併せて、本プロジェクト参加企業の成果把握のため、フォローアップ調査を行っていく。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	12
----	--------------	-----	----

事業名	ビジネスセミナー開催経費	平成27年度 目標達成度
事業概要	市内中小企業者の人材育成を積極的に推進し、新分野進出や業務改善、後継者育成等をはかるため、(公財)東大阪市産業創造労働者支援機構がビジネスセミナー(営業・経営・法律・IT等のテーマ)を開催することを補助する。	C

H27 決算	1,324千円	H28 予算	1,500千円	振興 施策	5			
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	--	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	3

指標①	ビジネスセミナー参加数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	500社	500社	500社	C	目標②				
実績①	385社	-	-		実績②				

事業実績  
(平成27年度)

本年は25回セミナーを開催し、延べ385名の参加があった。

改善すべき点

1回あたりの参加数が少ない。

平成28年度に向けた改善策

その時々々の国、経済の動向をみながらセミナー内容を検討する。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	13
----	--------------	-----	----

事業名	知的財産支援事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	市内製造業が知的財産を創造・活用することを推進し、製品の高付加価値化への転換を図ることを支援する。	D

H27 決算	69千円	H28 予算	300千円	振興 施策	1	4	7
-----------	------	-----------	-------	----------	---	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	産業財産権活用事業補助金の活用				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	10件	10件	10件	D	目標②				
実績①	1件	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	補助金の利用条件が緩和されたこともあり、問い合わせ件数は増加している。
------------------	-------------------------------------

改善すべき点	補助金の概要を理解していただけていないことが多く、申請にまで至らないケースがほとんどである。もっと認知度を上げていく必要がある。また、産業財産権活用事業補助金と銘打っているものの、現状では特許権のみが対象である。今後、対象となる権利を拡大するのかどうか検討課題である。
--------	--

平成28年度に向けた改善策	平成28年度から当該補助金を(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構で行うことになっており、研究開発事業等と関連し、周知をはかる。
---------------	--

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	14
----	--------------	-----	----

事業名	成長産業参入支援事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	航空・宇宙、ロボット、エネルギー、医療・福祉機器等、近年成長著しい分野への参入に向けたセミナー・見学会等を開催。メールマガジンでも関連する情報を提供する。	B

H27 決算	407千円	H28 予算	500千円	振興 施策	3	4	7
-----------	-------	-----------	-------	----------	---	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

指標①	環境ビジネス研究会登録企業数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	310社	310社	310社	B	目標②				
実績①	288社	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	現在の登録企業数は288社。
------------------	----------------

改善すべき点	企業見学会等負担を伴う場合、受け入れ先がなかなかないのが現状。
--------	---------------------------------

平成28年度に向けた改善策	成長分野を見極め、その分野で成功している企業を見極めセミナー等を開催する。
---------------	---------------------------------------

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	15
----	--------------	-----	----

事業名	産業振興PR経費	平成27年度 目標達成度
事業概要	市内企業は営業力を課題にあげる企業が多く、技術や製品のPR力を高めたいと考える企業が多い。 市では、人通りの多い市役所の1階や証明書発行等を行う行政窓口及び地域活動の拠点施設である7か所のリージョンセンター等で製品展示スペースを設け、PRを希望する企業の製品を展示しており、各企業の情報発信、取引の拡大を図るとともに、市民等にモノづくりのまちを感じて関心を持ってもらうことにより、市域企業への理解の促進につなげている。	B

H27 決算	395千円	H28 予算	446千円	振興 施策	3	10
-----------	-------	-----------	-------	----------	---	----

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3
4	24	3

指標①	地域内工業製品展示数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	80社	80社	80社	B	目標②				
実績①	69社	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	「東大阪市の産業集積地の企業情報発信方法」をテーマに、近畿大学の学生がプレゼンテーションを実施。地域内展示の改善方法を模索する中で、学生の地域企業への関心を深められた。
改善すべき点	・各展示場とも事業開始より相当年数が経過し、形骸化や展示ケースの老朽化が進んでいる。また空きスペース(小間)が多いため寂れた印象を受け、足を止め見る人はほとんどいない。 ・製品展示を希望する企業を定期的(年に1回)に募集しているものの、応募は少ない状況。
平成28年度に向けた改善策	近畿大学経営学部との産学連携を活かし、「東大阪市の産業集積地の企業情報発信方法」をテーマに近畿大学の学生のプレゼンテーションを実施した。大学との強い連携づくりと同時に、より多くの学生が地元企業への興味を持てる環境づくり・情報発信が必要。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	16
----	--------------	-----	----

事業名	モノづくり開発研究会支援事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	市内企業の技術力高度化や研究開発促進を目的としてテーマが設定された2分科会「トラブルシューター育成コース」「中堅人材育成コース」により研究会を実施している。それぞれのテーマに基づき機器利用による講習会及び外部講師を招いた座学講習会などを市立産業技術支援センターにおいて実施する。	A

H27 決算	350千円	H28 予算	350千円	振興 施策	5
-----------	-------	-----------	-------	----------	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

指標①	参加者の満足度(大変満足・満足の割合)				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	東大阪市内立産業技術支援センターにおいて、講義と実習を交えた技術研修である、「中堅人材育成・金属コース、高分子コース」を実施。
改善すべき点	講義と実習のバランスをどう保つのか。また、外部機関との連携をもっと取り入れていく必要がある。
平成28年度に向けた改善策	アンケートの結果を研修内容に反映させる。また、特徴のある市外企業や外部の公的機関への視察を検討している。

所属	経済部 モノづくり支援室	No.	17
----	--------------	-----	----

事業名	異業種交流促進事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	平成7年度に市内の異業種交流グループ間の情報交換や交流を図る目的で結成された、東大阪市異業種交流グループ連絡協議会の活動を支援することにより本市産業の活性化を図る。	A

H27 決算	250千円	H28 予算	250千円	振興 施策	1			
-----------	-------	-----------	-------	----------	---	--	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1
4	21	4

指標①	交流会の参加者数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	85人	85人	85人	A	目標②				
実績①	180人	-	-		実績②				

事業実績（平成27年度）

1. 第23回東大阪市異業種交流グループ交流会の開催  
近畿大学・日本政策金融公庫東大阪支店と共同で「近畿大学シーズ発表会」を開催し、産学連携に関する事例発表や近畿大学のシーズの研究発表、そしてグループ間の情報交換を行った。

2. 異業種イノベーション大交流会 2016への参加  
尼崎で開催された「異業種イノベーション大交流会」へ参加。尼崎市・津市・堺市の他地域の企業100名と広域交流を図った。

改善すべき点

地域の企業間ネットワークが本市の大きな強みであり、モノづくりの集積を支えてきたが、昨今の景気の低迷などによりその繋がりが崩れつつある。経営環境が依然厳しい中で、今後、新たな事業展開を図るにあたり、ネットワークの維持、再構築が重要な課題となっている。

平成28年度に向けた改善策

市内異業種交流グループ間の交流にとどまらず、他グループや他地域の企業との交流を図り、ビジネスチャンス創出に注力する。また、大学が有する技術シーズを活かして製品開発につなげていくべく、近畿大学等地域の大学と技術交流会を開催していく。

所属	経済部 商業課	No.	18
----	---------	-----	----

事業名	観光振興事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	観光客の誘致、本市のイメージアップなどを図るため、東大阪観光協会などの関係団体と連携し、本市の新たな観光資源の発掘やPRに取り組む。また、東大阪物産観光まちづくりセンターなどと協力して積極的に市の魅力情報を発信する。	A

H27 決算	13,852千円	H28 予算	12,194千円	振興 施策	3	7	10	
-----------	----------	-----------	----------	----------	---	---	----	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	5

指標①	観光振興補助金への応募件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2件	2件	2件	A	目標②				
実績①	2件	-	-		実績②				

事業実績（平成27年度）

市内飲食店を中心とした観光関連団体が実施する「バル」イベント（布施えびずバル、小阪・八戸ノ里なのはなバル）に対し、観光振興補助金交付により支援した。

また、東大阪観光協会への業務委託により、主に以下のことを実施し、本市の観光振興と魅力向上に努めた。

- ・東大阪観光ガイド（日本語・英語版）等の刊行物の作成・配布
- ・ホームページによる情報発信および、観光協会ウェブサイトへ設置したGoogle analyticsを用いた、閲覧者の観光嗜好等の分析
- ・外国人観光客の観光嗜好調査を目的とした、市内在住外国人を対象とした市内観光名所を巡るバスツアーの開催

改善すべき点

今後の観光振興においては、既存観光資源の活用に留まらず、様々な側面から「東大阪ならではの観光」を洗い出し、活用を図ることが求められている。

また、観光振興にかかる推進体制の強化が喫緊の課題である。

平成28年度に向けた改善策

観光振興事業補助金交付により、観光振興事業を引き続き支援していく。

また、ラグビーワールドカップ2019花園開催に向けて、多様な観光関連団体や庁内の関係部局とも情報共有と連携を図りながら観光振興に努めていく。

所属	経済部 商業課	No.	19
----	---------	-----	----

事業名	空き店舗活用促進事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	商店街が空き店舗などを活用して来客の増加やまちの活力・にぎわい回復事業を行う際、補助金の交付やアドバイザーの派遣を行う。	A

H27 決算	3,304千円	H28 予算	9,401千円	振興 施策	1	2	4	7
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	---	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

指標①	空き店舗活用促進事業の実施件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	3件	4件	4件	A	目標②				
実績①	3件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	空き店舗活用促進事業として商店街へ補助金を交付するとともに新規店舗についてはアドバイザー派遣も実施した。 ・商店街の魅力を高める店舗：イナリ前商店街振興組合（継続・飲食店） ・商店街の魅力を高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合（新規・飲食店） ・商店街の魅力を高める店舗：八戸ノ里商店会（新規・物販）								
改善すべき点	補助金を活用する団体が偏重している。また、アドバイザー派遣による店舗運営のアドバイスを店主が実践できているかどうか、フォローアップが必要がある。								
平成28年度に向けた改善策	比較的空き店舗の多い商店街に本補助金を活用してもらえよう、一層の働きかけを行う。								

所属	経済部 商業課	No.	20
----	---------	-----	----

事業名	商業振興コーディネート事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	特色ある商業集積地づくりのため、商業振興に意欲的な商業集積地を選定し、商業振興に関する事業提案を支援するとともに、取り組み成果を普及させる。	C

H27 決算	2,387千円	H28 予算	4,500千円	振興 施策	1	4	7
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

指標①	コーディネートを希望する商店街からの応募件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	2団体	2団体	2団体	C	目標②				
実績①	1団体	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	モデル地区として岩田本通商店街を採択し、商業振興ビジョンの基本方針・基本方向の実現に向けた具体的な取組を推進し、その成果を普及することを目的にコーディネート業務を委託した。地域ニーズの掘り起こしや課題をふまえた勉強会等を行い、新たな活動仲間やサポートメンバーを得ることができた。								
改善すべき点	ネットワークづくりにかかわる課題も多く、新たなメンバーもふくめて事業展開が行えるよう次年度に向けたサポートが必要である。								
平成28年度に向けた改善策	これまでの成功事例や成果情報を共有するなどにより若手業者や意欲のある商店主グループが連携し、具体的な事業実施につなげることができるようサポートを行い、地域商店街の活性化につなげたい。								



所属	経済部 商業課	No.	21
----	---------	-----	----

事業名	個店経営者育成セミナー事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	事業者や創業予定者を対象に「東大阪あきんど塾」を開講する。商店経営のあり方や個店の魅力向上をテーマにしたセミナーを実施するとともに、専門家(アドバイザー)を店舗に派遣し、売上向上の為のアドバイスを行う。	B

H27 決算	1,058千円	H28 予算	1,128千円	振興 施策	1	4	5	7
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	---	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

指標①	あきんど塾受講者満足度	指標②							
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	90%	90%	90%	B	目標②				
実績①	73%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	平成26年度に引き続き中小企業診断士を講師に招いて全10回の講義を実施した。商店経営の概略やマーケティング、マーチャライジング、経営分析等の研修実施により、経営者のスキルアップを図った。カリキュラム内容と参加人数は次の通り①商店経営概論(10名)②環境把握と分析(10名)③ストアコンセプトの確立(11名)④戦略策定事例演習(8名)⑤マーチャライジング・品揃え(7名)⑥マーチャライジング・価格・店舗運営編(6名)⑦来店促進策(6名)⑧購買促進策(7名)⑨経理と決算書(6名)⑩経営分析(8名)合計10回の講義に加え、臨店指導(アドバイザー派遣)を実施し座学と現場の両面から個店支援を図った。								
改善すべき点	受講生が定員に満たなかったことから、より効果的な広報手段を検討し、受講生の確保に努める。これまで論理中心の講義内容であったので、店舗経営の実践に活用できる内容も盛り込む。								
平成28年度に向けた改善策	平成27年度受講生アンケートを踏まえ、受けて良かった講義として挙がっているカリキュラムに盛り込むとともに、店舗経営で役立つ実践編のテーマも加える。経営改善や創業に意欲的な受講生確保の為、より効果的な広報手段を検討し、事業の委託に努める。								

所属	経済部 商業課	No.	22
----	---------	-----	----

事業名	元気グループ推進支援事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	商店街組織を構成する事業者が、他地域の事業者やモノづくり企業、農業者などと連携して、地域商業を活性化させる取り組みに対し、コーディネーター派遣により地域商業の経済的機能強化を図る。	A

H27 決算	598千円	H28 予算	1,000千円	振興 施策	1	3	7
-----------	-------	-----------	---------	----------	---	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

指標①	コーディネートを希望する意欲的な事業者グループからの応募件数	指標②							
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	1件	1件	1件	A	目標②				
実績①	1件	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	商業振興ビジョンの基本方針・基本方向の実現に向けた具体的な取組を推進しその成果を普及することを目的に、布施駅北部三番街・四番街商店街の若手を中心とした事業者グループの抱える課題に対し、コーディネーターの派遣を行うことを審査、決定した。座学研修やワークショップをかさねることで地域において必要と考えられる一定のテーマが浮かび上がった。								
改善すべき点	-								
平成28年度に向けた改善策	平成27年度に行った先進事例研究やコンセンサス形成をふまえ、テーマに沿った具体的な事業展開ができるよう一層のコーディネーターおよびアドバイスを実施していく。								

所属	経済部 商業課	No.	23
----	---------	-----	----

事業名	共同施設設置助成事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	買物しやすいまちづくり、安全・安心な買物環境づくり、商店街の魅力づくりのため、商店街などの小売業者で組織する団体が実施するアーケードや街路灯・防犯カメラなどの整備に対し、補助金を交付する。	A

H27 決算	8,680千円	H28 予算	10,000千円	振興 施策	1	4
-----------	---------	-----------	----------	----------	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	4

指標①	小売商業団体への補助金交付件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	5件	5件	5件	A	目標②				
実績①	9件	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	市内小売商業団体9団体に対し、防犯カメラの設置や街路灯・アーケード照明のLED化などの事業へ補助金を交付を実施した。(永和駅前商店会等)
------------------	--

改善すべき点	特になし
--------	------

平成28年度に向けた改善策	平成28年度については、引き続き商店街等の「安心安全づくり」と環境整備推進のため、本事業の周知と有効活用を図りたい。
---------------	--

所属	経済部 労働雇用政策室	No.	24
----	-------------	-----	----

事業名	ワークサポート事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	勤労者の処遇や労働条件について、相談業務を行うとともに、働く意欲がありながら就労できない障害者やひとり親家庭の母親、中高年齢者などの就職困難者を対象として雇用・就労の支援を行う。	A

H27 決算	13,569千円	H28 予算	13,602千円	振興 施策	9
-----------	----------	-----------	----------	----------	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	2

指標①	労働相談件数				指標②	就労支援相談件数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	240件	250件	250件	B	目標②	240件	250件	250件	A
実績①	235件	-	-		実績②	240件	-	-	

事業実績 (平成27年度)	・労働相談件数(市役所12階での専門員による労働相談)235件 ・就労支援相談件数(市内3か所の就労支援センターでの就労相談)240件
------------------	--

改善すべき点	-
--------	---

平成28年度に向けた改善策	労働相談事業については、昨年より相談件数が80件増加したものの目標件数には届かなかったため、労政ニュース等の広報を通じてより一層の周知に努めていく。
---------------	--

所属	経済部 労働雇用政策室	No.	25
----	-------------	-----	----

事業名	モノづくり若年者等就業支援事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	若年者(新規卒者を含む)などの早期就職や常用雇用の実現、雇用機会の創出を支援する。	D

H27 決算	10,000千円	H28 予算	10,000千円	振興 施策	5	9
-----------	----------	-----------	----------	----------	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	3

指標①	就労支援によって就労した人数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	80人	80人	80人	D	目標②				
実績①	39人	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「モノづくり人材育成塾」を開講(10/16~11/13) 受講者数 20人 就職者数 12人</li> <li>・「就職必勝セミナー」と「求人企業・事業所合同説明会」を同時開催(11/27) 参加者数 62人 就職者数 10人</li> <li>・「東大阪スタイル」を発行(9/1市政だよりで全戸配布) 210,000部 掲載企業数 12社 就職者数 3人</li> <li>・「モノづくり企業合同就職説明会」を開催(2/5) 参加者数 188名 就職者数 7名</li> </ul>
------------------	--

改善すべき点	就職した人数については、前年度の26人より13人増加したものの目標人数には届かなかった。
--------	--

平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動を強化し、モノづくり企業の魅力をアピールすることで、モノづくり企業へ就職したい求職者を集められるよう、事業内容を精査しながら実効性のあるものに改善する。</li> <li>・昨年8月に大阪労働局及び東大阪商工会議所と締結した「モノづくりのまち東大阪雇用対策協定」に基づき、三者がより緊密に連携し、東大阪市の特色を有している「モノづくりのまち」と「若者が集うまち」を活かしながら、「モノづくり企業」の活性化を図り、雇用対策に取り組む。</li> </ul>
---------------	---

所属	経済部 労働雇用政策室	No.	26
----	-------------	-----	----

事業名	若年者等トライアル雇用事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	若年者等を雇用し、国のトライアル雇用奨励金の支給を受けた事業主に対して、トライアル雇用支援金を支給することにより、雇用のミスマッチの解消及び企業の人材確保を図る。	D

H27 決算	248千円	H28 予算	3,070千円	振興 施策	9
-----------	-------	-----------	---------	----------	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	3

指標①	トライアル雇用支援金支給件数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	50件	50件	50件	D	目標②				
実績①	4件	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年者等トライアル雇用支援金を3事業所、のべ4件、240,000円を支給。</li> <li>・平成24年度に支給した対象労働者の定着率を平成27年8月に調査した。(60.0%)</li> <li>・平成27年9月、平成28年3月に労政ニュースにより、平成27年4月モノづくり企業支援施策説明会により制度のPRを行った。</li> </ul>
------------------	---

改善すべき点	平成27年9月、平成28年3月に労政ニュースにより、平成27年4月モノづくり企業支援施策説明会により制度のPRを行ったが、結果的に前年度の10件より6件減少し、目標人数には届かなかった。
--------	---

平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークのトライアル雇用奨励金(月額最大4万円、最長3ヶ月間)に上乗せして、月額2万円を支給している。</li> <li>・一定期間試用することで、本人の適性や職務遂行能力を見極めることができることから、企業側にとってメリットがある制度である。</li> <li>・今後も、労政ニュースやモノづくり企業支援施策説明会等を活用したり、大阪労働局助成金センターにチラシの配置依頼をすることで、引き続き周知に努めていく。</li> </ul>
---------------	--

所属	経済部 労働雇用政策室	No.	27
----	-------------	-----	----

事業名	就労困難者就労支援事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	事業主に対する障害者雇用奨励金の支給や障害者就業啓発、若者の自立のために訪問相談や仕事体験などの取り組みにより、障害者、ニート、ひきこもり、就業意欲の低い若者等の雇用・就労に向けた支援を行う。	B

H27 決算	1,750千円	H28 予算	1,600千円	振興 施策	9			
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	--	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	4

指標①	障害者雇用奨励金支給件数				指標②	ニート・ひきこもりなど若者の進路決定件数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	12件	12件	12件	A	目標②	200件	200件	200件	C
実績①	17件	-	-		実績②	128件	-	-	
事業実績 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者雇用奨励金を7事業所、のべ17件、1,650,000円を支給。</li> <li>平成24年度に支給した対象労働者の定着率を平成27年8月に調査した。(91.7%)</li> <li>平成27年9月、平成28年3月に労政ニュースにより、平成27年4月モノづくり企業支援施策説明会により制度のPRを行った。</li> <li>障害者就業啓発事業「はたらくくらすフォーラム」を開催。(参加企業4社、来場者73人、採用者4人)</li> <li>若者の自立支援として、相談件数2262件、仕事体験・各種セミナー参加者438人、事業等級においては、最高ランクのS等級に認定された。</li> </ul>								
改善すべき点	障害者就業啓発事業については結果的に前年度の来場者が96人より20人減少した。								
平成28年度に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者雇用奨励金については、労政ニュースやモノづくり企業支援施策説明会等を活用したり、大阪労働局助成金センターにちらしの配置依頼をすることで、引き続き周知に努めていく。</li> <li>障害者就業啓発事業については、開催時期と周知時期の見直しを行う。</li> </ul>								

所属	経済部 労働雇用政策室	No.	28
----	-------------	-----	----

事業名	市内企業と学生、女性の就職マッチング事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	市内企業の採用状況や雇用ニーズをきめ細かに把握し、新たな雇用ニーズの掘り起こしを図るとともに、学生や子育て世代の女性の就職ニーズとのマッチング事業を行う。	A

H27 決算	-	H28 予算	-	振興 施策	9			
-----------	---	-----------	---	----------	---	--	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	2

指標①	就職をサポートした学生や女性の人数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標① (ニーズ調査)	100人	100人		-	目標②				
実績①	102社	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	<p>平成27年度は、製造業を中心に102社の企業訪問と郵送アンケートによる雇用ニーズ調査を行った。調査結果より、製造業においては、人材不足感があり、毎年定期的に採用が行われていた。また、正社員の率が比較的高く、定着するように企業側も努力しているため、定着率も高い傾向にあることがわかった。採用に関しては、近年の売り手市場を反映して、どこの事業所も採用に苦慮しており、学歴や資格より、人物を重視する傾向が多く見受けられた。</p>								
改善すべき点	-								
平成28年度に向けた改善策	<p>雇用ニーズ調査の結果を受け、平成28年度より、モノづくり企業を中心とした市内企業と、大学生を始めとする若者を結び付ける「若者就活応援事業」に取り組む。(女性の就業支援については、平成29年度に開設予定の就労支援ワンストップ窓口において取り組む予定である。)</p>								

所属	経済部 農政課	No.	29
----	---------	-----	----

事業名	都市農業活性化農地活用事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	農業団体や農家が行う農業生産基盤の整備などに対して補助金を交付する。	B

H27 決算	29,265千円	H28 予算	33,500千円	振興 施策	2	3	4
-----------	----------	-----------	----------	----------	---	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	3

指標①	農地面積割合				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	3.90%	3.90%	3.90%	B	目標②				
実績①	3.58%	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	申請件数98件 補助金交付額29,265,000円
改善すべき点	農家、耕作面積の減少が続いておりますので、H28、29年に向けても農業の継続・発展、農地保全が維持されるよう、農業振興を図りたい。
平成28年度に向けた改善策	農業の振興及び農地保全に繋がる様、補助金交付実施基準を見直し、改正する。

所属	経済部 農政課	No.	30
----	---------	-----	----

事業名	農業啓発推進事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	市内生産者のエコ農産物を普及させるとともに、より一層のエコ農産物生産を促進することで、安全・安心な農産物を消費者に提供するとともに、消費者が地元の農産物を購入することで地産地消や農地の守り手になるファームマイレージ事業を拡充する。	A

H27 決算	4,150千円	H28 予算	4,150千円	振興 施策	2	3	4	5
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	---	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	1

指標①	大阪エコ生産者数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	150人	150人	150人	A	目標②				
実績①	204人	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	ファームマイレージ運動の推進により、地場農産物に対する市民・消費者の購買行動に繋げ、大阪エコ農産物生産者数の増加をもたらしている。
改善すべき点	ファームマイレージ運動の推進により、実績が上がっておりますので、今後も実績が上がるように継続してまいります。
平成28年度に向けた改善策	より一層、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心と理解を広め・高めることで、農地を守り農業を支えることに繋げていきたい。

所属	経済部 農政課	No.	31
----	---------	-----	----

事業名	有害鳥獣捕獲対策事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	生駒山中に生息するイノシシが農作物に被害をおよぼすことを防ぐため、大阪府第11次鳥獣保護事業計画などに基づき捕獲する。	C

H27 決算	2,218千円	H28 予算	2,625千円	振興 施策	2
-----------	---------	-----------	---------	----------	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	5

指標①	イノシシの捕獲数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	150頭	150頭	150頭	C	目標②				
実績①	84頭	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	生駒山中に生息するイノシシが農作物に被害を及ぼすことを防ぐため、大阪府第11次鳥獣保護事業計画に基づき、捕獲について公益社団法人大阪府猟友会枚岡支部に捕獲業務を委託して実施している。
------------------	---

改善すべき点	イノシシの農作物被害以外の住環境に関する市民からの苦情・要望に加え、サル・アライグマ・イタチ・カラス等の出没に関して農業とは直接関係がない苦情が多く、農政課では対応に苦慮している。鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律やその他関連法令に対応する組織を早急に構築する必要がある。
--------	---

平成28年度に向けた改善策	農政課で出来る範囲の対応を継続する。 上記の課題・問題点について、市として検討・整備が図られる必要がある。
---------------	--

所属	経済部 経済総務課	No.	32
----	-----------	-----	----

事業名	中小企業振興会議	平成27年度 目標達成度
事業概要	振興会議は市長が諮問機関として設置する第三者機関としての役割を担い、法的には地方自治法(第138条の4)に規定される市長の附属機関として設置する。構成メンバーは、市内中小企業者、学識経験者、公募による市民、経済団体、金融機関、行政など幅広い関係者によって構成される予定であり、本市中小企業の①動向に関すること ②施策の推進に関すること ③経済の活性化に関すること ④条例の改廃に関すること ⑤その他本市中小企業の振興に関することなどについて審議を行う。	—

H27 決算	1,214千円	H28 予算	2,135千円	振興 施策	4	7
-----------	---------	-----------	---------	----------	---	---

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	0	0

指標①	中小企業振興会議からの意見等に基づいて実現した施策の数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	-	20件	20件	-	目標②				
実績①	-	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	平成25年7月に中小企業振興会議より、本市が今後進めるべき中小企業振興施策や取り組みなどを提言を受けた。
------------------	--

改善すべき点	提言いただいた内容に沿って、実現可能なものから速やかに施策化を図っていく。
--------	---------------------------------------

平成28年度に向けた改善策	提言いただいた内容に沿って、実現可能なものから速やかに施策化を図っていくとともに、施策化を図るにあたり、より深掘りが必要な課題について、引き続き検討を進める。
---------------	---

所属	経済部 経済総務課	No.	33
----	-----------	-----	----

事業名	東大阪市CSR経営表彰(東大阪市企業・従業員表彰事業)	平成27年度 目標達成度
事業概要	地域や社会における企業の社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)を果たす企業を表彰する「CSR経営表彰」を行い、当該企業の企業価値を高め、社会から信頼される企業として市域に軸足を置いて、環境・地域・社会人権・労働の分野で社会に貢献する中小企業の事業所の増加を図り、もって本市産業の持続可能な振興と発展に資することを目的とする。	C

H27 決算	533千円	H28 予算	896千円	振興 施策	5	7		
-----------	-------	-----------	-------	----------	---	---	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	3
4	25	1

指標①	応募企業数				指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	8社	8社	8社	C	目標②				
実績①	4社	-	-		実績②				

事業実績 (平成27年度)	H28.2.18表彰授与式開催。CSR経営表彰企業4社(応募企業4社)について表彰した。
改善すべき点	応募企業を伸ばすための広報手段について、検討の必要がある。
平成28年度に向けた改善策	チラシ等による広報を行い、PRをさらに積極的に行うことで周知を図る。

所属	経済部 経済総務課	No.	34
----	-----------	-----	----

事業名	中小企業情報提供事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	本市の最新支援施策や各種セミナー等の情報を、市内中小企業者へ向け提供する。また、本市産業施策の立案にあたり、重要な基礎資料となる中小企業動向調査を行う。	A

H27 決算	1,960千円	H28 予算	2,811千円	振興 施策	10			
-----------	---------	-----------	---------	----------	----	--	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3
4	24	3

指標①	動向調査回数				指標②	情報提供回数			
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	4回	4回	4回	A	目標②	24回	24回	24回	B
実績①	4回	-	-		実績②	23回	-	-	

事業実績 (平成27年度)	4半期ごとに市内中小企業の動向調査を行うとともに、補助金やセミナー情報等最新の施策情報を、23回FAX送信を実施した。
改善すべき点	-
平成28年度に向けた改善策	情報提供手段のあり方を検討する。

所属	経済部 経済総務課	No.	35
----	-----------	-----	----

事業名	中小企業融資事業	平成27年度 目標達成度
事業概要	中小企業の円滑な資金繰りや、安定した経営を支援するため、公的融資を実施する。また、クリエイション・コア東大阪において、総合的な融資相談を行う。	A

H27 決算	1,508,580千円	H28 予算	1,508,984千円	振興 施策	6			
-----------	-------------	-----------	-------------	----------	---	--	--	--

第3次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	2

指標①	「東大阪市小規模企業融資制度」による融資を受けた中小企業者の満足度				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H27	H28	H29	H27達成度		H27	H28	H29	H27達成度
目標①	80%	80%	80%	A	目標②				
実績①	94%	-	-		実績②				
事業実績 (平成27年度)	大阪府市町村連携型融資である「小規模企業融資制度」について、昨年度に引き続き取扱金融機関へ預託を行い、大阪府下において最も低利である0.8%の貸付利率を引き続き実現した。								
改善すべき点	本制度は、大阪府制度融資の小規模企業サポート資金における市町村連携型として実施するものであり、制度の実施は府の動向に左右される。								
平成28年度に向けた改善策	平成27年度に引き続き、融資制度のチラシを作成し関係機関への設置を依頼するとともに、市の施策説明会等において広報を行い、広く周知を図る。								